

5. 熱中症対応フロー



- 安易に大丈夫と判断しない
- 管理職・養護教諭に速やかに報告

(1) 熱中症を疑う症状がある

- めまい、失神、筋肉痛、四肢や腹筋のけいれん
- 大量の発汗、頭痛、吐気、嘔吐、倦怠感・脱力感、頻脈、顔面蒼白
- 手足の運動障害（足のもつれ・ふらつき、転倒、座り込み）

(2) 意識はあるか？ 呼びかけに答えるか？

- 応答がない
- 言動がおかしい
- 意識がない

一つでも
あてはまれば

- 意識がない
- 応答がない
- 言動がおかしい
- 汗をかいていない
- 体温異常上昇 等

救急車（119）をただちに要請

敦賀市教育委員会へ連絡
学校教育課 22-8162

保護者へ連絡

【涼しい場所へ避難】

- 冷房の効いた室内へ
- 衣服をゆるめて、寝かせる
- 一人にしない

状況に応じて

(3) 自分で水分摂取できるか？

- 経口補水液等を飲ませる
- 食塩水（0.1～0.2%）を飲ませる

できない

(4) 症状がよくなったか？

- 安静にして、十分に休憩させる
- こまめに体温を測定する

改善しない

救急車来るまで

【涼しい場所へ避難・冷却】

- 冷房の効いた室内へ
- 衣服をゆるめて、寝かせる
- 一人にしない
- 積極的に体を冷やす
- ・できるだけ迅速に体温を下げる
- ・手足を氷水で冷やしたり、うちわや扇風機であおいだりして体を冷やす
- ・全身に水をかける

医療機関受診

救急搬送

- ・車両誘導
- ・搬送先確認、保護者へ連絡
- ・教職員同行

- そのまま安静にして十分に休息をとり、保護者の迎えを依頼 経過観察
- 改善しない場合は医療機関で受診